

平成21年8月31日

簡易ガス供給約款の原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整について (平成21年10月検針分)

宮崎ガス株式会社

当社は、新しい原料費調整制度を導入することを主な内容とする供給約款及び選択約款の変更を九州経済産業局長へ届出いたしました。

新しい原料費調整制度は、料金適用月の5～3ヶ月前の平均原料価格を毎月の料金に反映させる制度となり、本年10月検針分から適用を開始することとなりました。

これにより、平成21年10月検針分の従量料金単価は、平成21年4～9月に比べ1m³

(100.46MJ) 当たり△88.86円(消費税込み)、モデル家庭のガス料金は、1ヶ月あたり△1,218円(消費税込み)の値下げになります。

1. 簡易ガス供給約款料金における基本料金と従量料金単価(消費税込み)

簡易ガス	基本料金	4～9月検針分 (a)	10月検針分 (b)	影響額 (b) - (a)
料金表A (0～8m ³)	967.05円	525.37円	436.51円	△88.86円
料金表B (8.1～30m ³)	1,582.35円	448.45円	359.59円	△88.86円
料金表C (30.1m ³ 以上)	4,297.65円	357.94円	269.08円	△88.86円
調整額		18.52円	△70.34円	△88.86円

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

2. ガス料金への影響(モデル家庭の1ヶ月ご使用例、消費税込み)

1ヶ月のご使用量	4～9月検針分(a)	10月検針分(b)	影響額(b-a)
13.7m ³	7,726円	6,508円	△1,218円

○モデル家庭の料金の計算方法

ガス料金 = 基本料金(1582.35円) + 従量料金単価(359.59円) × 13.7m³

※1円未満の端数は切捨て

3. 平均原料価格(10円未満の端数は、四捨五入)

	平成20年7～12月	平成21年5～7月	基準平均原料価格
液化プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	83,120円/t	42,720円/t	74,660円/t

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (100円未満の端数は切り捨て)

= 42,720円/t - 74,660円/t = △31,900円/t

4. 調整額

調整額 = 0.210円 × 原料価格変動額 / 100円 × (1 + 消費税率)

= 0.210円 × (△31,900円/t) / 100円 × (1 + 0.05) = △70.34円/m³